



矢崎社長

現場のニーズを反映 開発プロセスを見直し

矢崎エンジニアリングシステムは4日、顧客であるトラック運送事業者、バス事業者ら計約120人を都内のホテルに招き、新型デジタコ「DTG7」の発表会を開催した。発表会の席上やそれに先立つ記者会見で、矢崎航社長は「これまでの開発プロセスを反省し、ドライバー、運行管理者、運送会社が何を求めているのかを考え、現場の声を反映させたのがDTG7。開発プロセスを見直した最初の商品だ」と述べた。

矢崎エンジニアリングシステムは、立派な新しい会社だ。2012年6月に設立された。電線、ガス機器、環境シ

スラム、計装の1つの事業分野からなり、デジタコやドライブレコーダーやドライブレコーダーを計装事業の売上高は約100億円、全体の7%程度に当たる。矢崎グループの社是である「社会から必要とされる企業」「世界と共にある企業」の実現を目指し、各事業がコミュニケーションを取っている。計装事業部では、19

60年からアナログデジタコを販売しており、皆様に育てて頂いたのをお返ししたい。いろいろ考えたが、モノづくりである以上、皆様に受け入れてもらえる商品を作り続けることが大事だと考えるに至った。

「DTG7」は、当社のデジタコフラッグシップモデルであり、最も機能が充実している。ドライブレコーダー機能と連動し、通信機能を加えた点が特徴で、とくに事故未然防止のための前方車両衝突警報など、安全機能を備え、事故を防ぐための手助けができる。



トラック、バス事業者ら約120人が集まった

この4月から車両総重量4t以上または最大積載量4t以上の営業用トラックにデジタコの装着義務が拡大される。まず新車に対して義務付けが始まり、使用過程車についても2017年4月までに装着する必要がある。

1960年からアナログデジタコを販売を開始したタコグラフのパイオニア、矢崎の最新フラッグシップモデル「DTG7」。検討して見る価値がある。

新デジタコ 矢崎DTG7 究極の予防安全実現

5月発売

ドラレコ画像で警報 データ転送3方式選択可

矢崎エンジニアリングシステムは5月21日、新型デジタコ「DTG7」を発表する。ドライブレコーダー一体型で、ドラレコの画像認識機能により、究極の予防安全を実現した点が特徴だ。また、データ転送についてはSDカード方式を先行発売するが、LTE通信方式、無線LAN方式を順次投入し、3種類の方式から選択できるようにする。混在も可能とするので現場の事情に合わせた運用が可能だ。矢崎デジタコの新たなフラッグシップモデルを紹介しよう。



新型デジタコ「DTG7」の構成商品



記者会見に臨む(左から)小野常務執行役員、矢崎社長、加藤計装開発センター長

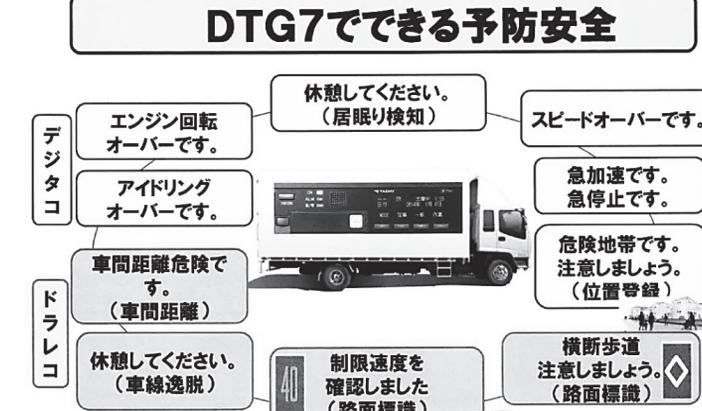
DTG7本体およびGPSアンテナ	¥170,000
車載カメラ(デジタコカメラ)	¥26,000
SDカード(2GB)	¥6,000
解析ソフトウェア(スタンドアロン方式)	¥450,000
事務所リーダーライター	¥30,000

さらに、信号のない横断歩道に標示されている菱形マークを認識し、加速して通過した場合に注意勧告する。メインカメラの画素数は100万画素に引き上げた。同社では「単眼カメラだけではどこまで認識するのは日本初。究極の予防安全だ」と計装事業部の加藤幸企部長(左)は話している。

警報発生時や交通違反時の映像情報を解析することで、より詳しく乗務員の運転を評価することができるようになる。

「お父さん 頑張っても」
このほか、矢崎航社長お気に入りの機能が、メッセージインヤルサービ機能だ。「お父さん頑張つて」という子供の肉声をあらかじめ録音し「DTG7」に転送して深夜を定めた時間に再生することで、予防安全に役立つ機能だ。

「お父さん 頑張つても」
このほか、矢崎航社長お気に入りの機能が、メッセージインヤルサービ機能だ。「お父さん頑張つて」という子供の肉声をあらかじめ録音し「DTG7」に転送して深夜を定めた時間に再生することで、予防安全に役立つ機能だ。



「お父さん 頑張つても」
このほか、矢崎航社長お気に入りの機能が、メッセージインヤルサービ機能だ。「お父さん頑張つて」という子供の肉声をあらかじめ録音し「DTG7」に転送して深夜を定めた時間に再生することで、予防安全に役立つ機能だ。

「お父さん 頑張つても」
このほか、矢崎航社長お気に入りの機能が、メッセージインヤルサービ機能だ。「お父さん頑張つて」という子供の肉声をあらかじめ録音し「DTG7」に転送して深夜を定めた時間に再生することで、予防安全に役立つ機能だ。